

やめよ！徳山ダム

徳山ダム建設中止を求める会通信
 No. 7 ('96. 12. 23)
 事務局 電話 0584(78)4119
 大垣市本町2-27 FAX 0584(82)4119

11/23~25の一連のアクション、無事に終わりました。ご協力有り難うございました。

- ☆11・23
- (1)徳山村現地学習 64人参加
- (2)水源開発問題全国連絡会・総会 80人参加
- ☆徳山ダム建設をやめさせ山の再生を求める 11・24全国集会 150人参加

開発チェック機関を 水源連が大垣で全国総会



水源開発の現状などを報告した水源開発問題全国連絡会の総会＝大垣市高砂町

ダムなどの水源開発事業の必要性に疑問を持つ市民団体が集まった全国組織「水源開発問題全国連絡会」(水源連、矢山有作代表)の第三回総会が二十三日、大垣市高砂町の旅館で開かれ、大垣市高砂町の旅館で

選するために取り組む一〇の活動方針を確認した。水源連は全国で水源開発に反対する約四十団体で組織。徳山ダムをはじめ全国の十二事業について事業の見直しを働き掛けている。総会では、一年間の活動経過や各市民団体の取り組みの現状などを報告。徳山ダム建設中止を求める会(上田武夫代表)は「名古屋市の水利権の一部を返上する意向を示し、徳山ダム事業計画の根本的な見直しが必要になってきている」と指摘した。

『徳山ダムは必要ない』 大垣 建設中止求め全国集会



徳山ダムの建設中止を求めてデモ行進する参加者＝24日、岐阜県大垣市内で

「徳山ダム建設をやめさせ山の再生を求める11・24全国集会」が二十四日、岐阜県大垣市スイトピアセンターで開かれた。ダム建設に反対する全国の四十五の

市民団体の会員ら約百八十人が参加し、徳山の山と森の再生を、ダムをつくらない暮らしを「などとうたった徳山ダムの建設中止を求め、宣言を全員で採択した。同県揖斐郡藤橋村に建設が予定されている徳山ダムの問題について、同会の上田武夫代表が説明。「現状では水は余っており、これ以上必要ない。ダム予定地にはイヌワシなど希少野生動物がおり、これを守り、山を再生していくことが大切」と話した。全国でダム建設に反対している十三団体の代表が報

徳山ダム建設反対市民団体が署名簿6500人分提出
 岐阜県揖斐郡藤橋村の徳山ダム建設に反対している市民団体「徳山ダム建設中止を求める会」(上田武夫代表)などは二十五日、中部地方建設局に対し、建設中止を求めた約六千五百人分の署名簿を提出、ダム建

設を前提としない治水計画の早急な立案などを要望した。要望書によると、徳山ダムのような巨大事業は地域の生態系に決定的な破壊をもたらす上、計画参画時点での水需要予測を大幅に修正せざるを得ないことを名古屋市が認めているなど指摘。利水面でもダム建設は不必要だと、岐

阜、愛知両県にも実態に基づいた水需要予測を検討すること、その結果が出るまで、建設省はダム建設を凍結することなどを求めている。

☆11・25 対建設省(中部地方建設局)交渉…署名と要望書を提出

要望書については、12/12 中部地建より「審議委員会で審議していただいているところであり～同委員会の意見を尊重して本事業のその後の進め方について検討することとしています」という「回答」がありました。

皆様のご協力で集めた6494名の署名を届けました。署名呼びかけ人の皆様、有り難うございました。その後に事務局に到着した分もあり、引き続き集められる分は集めます今後ともよろしく願います。

次回「建設省との対話」

2/16(日)13:30~16:30 スイトピアセンター第5会議室

建設省は「休日だから拒否するというのではないが」と言いつつ、「できるだけ平日・名古屋市内で」と言い出しています。「対話」は、できるだけ多くの地元の市民と十分に話し合うこと抜きには成立しないはず。平日・名古屋では「本当は話し合いたくない」姿勢が見えます。2/16については、拒否はしていないものの、正式の受諾の回答を寄越していません。こちらは既定のものとして準備を進めます。

テーマは主に治水と環境—大型猛禽類について。多くの方々のご参加を。

徳山ダム建設事業審議委員会

委員長辞任の申し入れ書を送る(12/14)

審議委員長に
辞職を求める
徳山ダム反対派住民
徳山ダムの建設に反対する住民グループ「徳山ダム建設中止を求める会」(上田武夫代表)は16日、徳山ダム建設事業審議委員会の館正知委員長(岐阜大医学部名誉教授)が梶原拓哉

公共施設運営で大垣市に公開質問状
徳山ダム建設
中止を求める会
大垣市民らでつくる「徳山ダム建設中止を求める会」(上田武夫代表)は16日、大垣市の山本次能教育長に市スイトピアセン

岐阜知事の選挙母体「未来の県政をひらく会」の名誉顧問に就任したことについて、「建設推進を掲げる知事の後援団体の要職に就任したことは、公正な審議をする審議委員長としては不適当」として14日に、同氏に対し、審議委員長の辞職を求める申し入れ書を出した、と発表した。

予定した建設省との対話集会などの施設使用許可は今年八月、同市教委が取り消したため、同会は許可取り消し処分の停止を求める訴えを九月に起こし、岐阜地裁は同会の主張を認める決定を下した。

ターの運営方法を問う公開質問状を提出した。同会は来年二月に、徳山ダムに関する建設省との対話集会を企画。会場として同センターの使用を申し込んだが、職員から集会の資料提出を求められた上、市幹部から「集会所センターの条例にある設置目的に適合するか否かを判断する」とされた。

上田代表らは「決定では、明白に設置目的に反すると見える場合にのみ使用許可取り消しが許される」としており、市教委が内容で使用の適否を判断する裁量権は認めていない。会の申請に関するのみ、適否を検討するのは不当三として質問状を出した。

大垣市の「会場使用取消」

その後

公開質問状に対して、大垣市がなお「設置目的に合致するか否かを決める裁量権はある」と回答しています。

はて、どうすべきか。

会計報告

12月14日現在

徳山ダム建設中止を求める会も12月25日で発足1年を迎えます。これまで、活動の費用はすべて皆様からのカンパで賄ってきました。途中で思いもしなかった裁判所への提訴などもありましたが、皆様のおかげで今のところ、会計は黒字となっております。「やめよ!徳山ダム」を発行・郵送することだけでも経費がかかります。今後の財政のありようについて、皆様のお知恵とお力を拝借したいと思います(事務局)。

収入の部	合計	
3月までのカンパ	514175	
3/10 学習会(カンパー会場費)	66906	
5/3 徳山村を尋ねる会(参加費-経費*)	2130	
カンパ	14500	*バス代・弁当代など
9/15・16(カンパー参加費)	44500	
その他9月までのカンパ	17616	
10/10 建設省との対話(カンパー会場経費*)	11471	*会場使用料・マイク等
11/23・24(参加費-経費*)+カンパ	107847	*バス代・弁当代・旅館代・会場費
1月からの郵便振替によるカンパ	224350	
銀行利子	15	

支出の部	合計		残高	計
郵送料・切手代	368043		現金	146132
弁護士・着手金	149530		郵便局	6767
11/24チラシ代金	100000		銀行	34350
看板代・材料費など	52530			105015
会費・参加費・資料代	9000			
封筒代金	12200			
交通費	7210			
雑費	30500			
	7073			

◎12/26に第11回「徳山ダム審議委員会」

技術と環境の両専門委の「報告」を受けるための審議委員会が「何が何でも年内にやる」という館委員長の強い意向で押し詰まって開かれます。建設省の筋書き通りの(建設を前提に色々な条件や留意事項をつける)「答申」が出るのは、岐阜県知事選挙の前か後か?

◎12/14の「実行委」

活動の幅と奥行きを広げる、幾つかの提案がありました。「徳山ダム」に直接結び付けなくても旧徳山村の自然に触れ合う“アウトドア”企画、「大垣市の水道水を守る」という点に絞った消費者運動…。ここで「立木トラスト」も出ましたが、旧徳山村の人々の現在の状況では期待できないだろう、という話をしていました。ところがその数日後、「藤橋村の中にも徳山ダムに疑問を持ち、建設中止を願う人々が結構居るのだ、頑張っしてほしい」という話も伝わって来て、長い目で見れば、可能性もある、と思えます。粘り強い活動を続けていこうと考えます。

次回は「1/11(土)1:00~於事務局」です。

長良川河口堰・徳山ダム … それだけ取り出しても岐阜県の政治を何とかしなければ、
という思いが募ります。その他にも岐阜県では個別の問題が噴出しています。

ネットワーク「近藤まさたかと
くらし・しぜん・いのちを守る」
事務所 岐阜市金町1-19
(近日中開設)
郵便振替00800-1 114469
無党派。既製の組織とは無縁です。

産廃処分場も争点 1/20

知事選 近藤氏が出馬会見

来年二月投票の知事選「す」と決意を述べた。十九日に出馬を表明した学野塾長近藤正尚氏(公)は、大垣市田町では、県庁での記者会見で「今の県政は、知事をトップにした官僚政治。開発土事を優先している上、情報を一手に握って県民に伝えていない」と梶原県政を批判。「無党派の立場で、住民の声を直接反映させる県政を目指す」と述べた。



知事選への出馬を表明する近藤正尚氏(県庁で)

したの、長良川河口せき問題、藤橋村に計画がある徳山ダム建設問題、御嵩町の産廃廃棄物処分場建設問題の三点。「いずれも自然破壊に直結する事業である」と決意を述べた。

市民グループ 塾経営者擁立

岐阜県知事選

一月十六日に告示される岐阜県知事選に、「徳山ダ

八建設中止を求める会」の一九七九年から大垣市で塾事務局員で学野塾経営者の近藤正尚(まさたか)氏(公)が十九日、立候補すると表明した。近藤氏は岐阜県大垣市出身。東大大学院を中退。在学中は東大生共闘に参加した。東京で、タクシー運転手や会社員などをした後、岐阜県知事選には、市民、新進、社民、公明各党の推薦で三選を目指す現職の梶原拓氏(公)と、共産党推薦の新顔の松本稔氏(公)の二人が、すでに立候補を表明している。

り、県などが一方的に進めようとすることや県条例による住民の権利を侵害するなどの理由で、もっと住民に内容を知らせ、考えを聞くべきだ」と繰り返した。このほか女性陣訓知事を買収するの、無党派の市民グループの集まり「くらし・しぜん・いのち」の県民ネットワークが中心になる。後援会を設立し、近く政治団体の届け出をする。

知事選第二の選択肢

近藤氏の 出馬表明 無党派派層に照準

来年一月十六日に告示される知事選は、市民グループに推される「無党派」の新顔、近藤正尚氏(公)が十九日立候補を表明したことで、県議会オール与党にかつがれた梶原拓氏(公)と共産党の推す候補との事実上の対決だった過去二回と比べて違った展開となりそうだ。近藤氏の陣営では「既成政党に失望している無党派層の票を掘り起こしたい」と話している。